

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および
K P I 実績値の公表について

0 序文

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 新岩手農業協同組合では、「組合員とその家族をはじめ、広く地域住民や生活者に対し、営農とくらし全般におよぶ事業活動を通じて、組合員・利用者の価値を高めるとともに、地域社会（環境・文化・福祉）の発展に貢献すること」を経営理念にかかげています。
- 当組合では、この理念のもと「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、誠実な組織・事業活動を通じて、将来とも食料・農業・地域において最も信頼され、組合員をはじめとする利用者・地域住民・生活者から第一に選ばれる「地域密着型サービス事業体」になることを目指して具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

新岩手農業協同組合

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

<商品選定の考え方>

主な選定基準

- 将来の備えにむけた「長期投資」を前提としている
- 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 過去の運用実績の再現性が認められること
- 手数料が良心的な水準であること
- 過度に分配金を捻出する投資信託でないこと
- 第三者評価機関からの評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I .取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 罹患リスクの高いがん治療について、令和7年度より従来よりも幅広く保障できる新たな仕組みの取り扱いを開始しました。
- 共済事業においては、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が共同で事業運営しており、お客様の声や顧客情報などを相互に連携し利用者満足度の向上に取り組んでおります。
(総合満足度 95.3% 2026年1月末現在)
- 当組合は、市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

I .取組状況

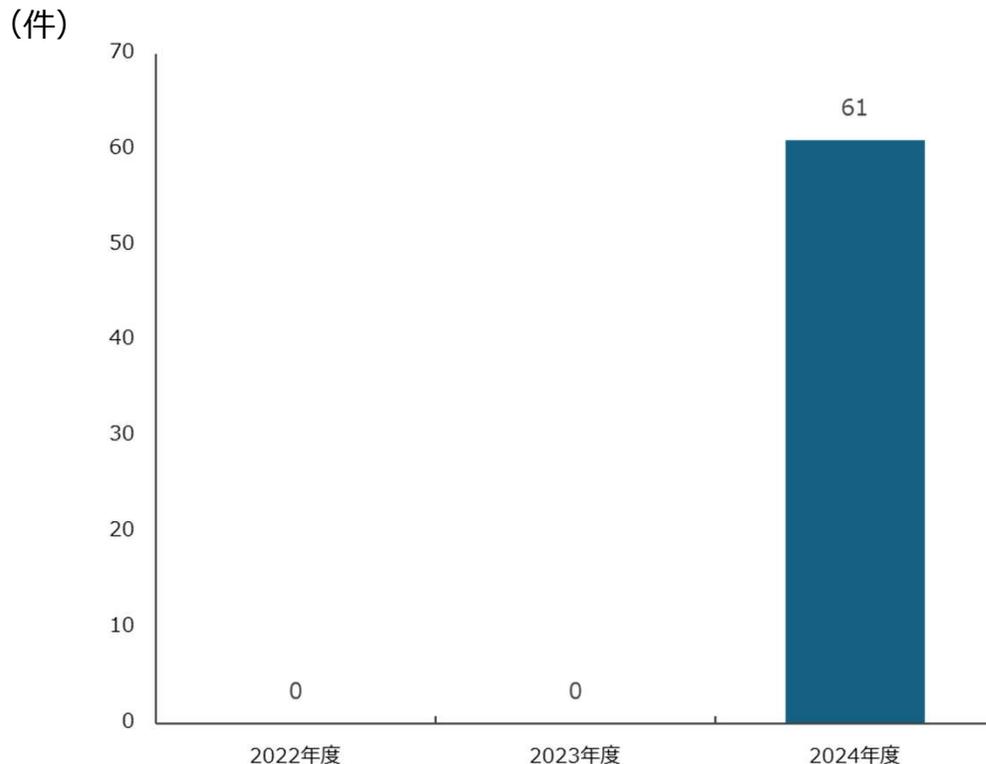
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～7)】

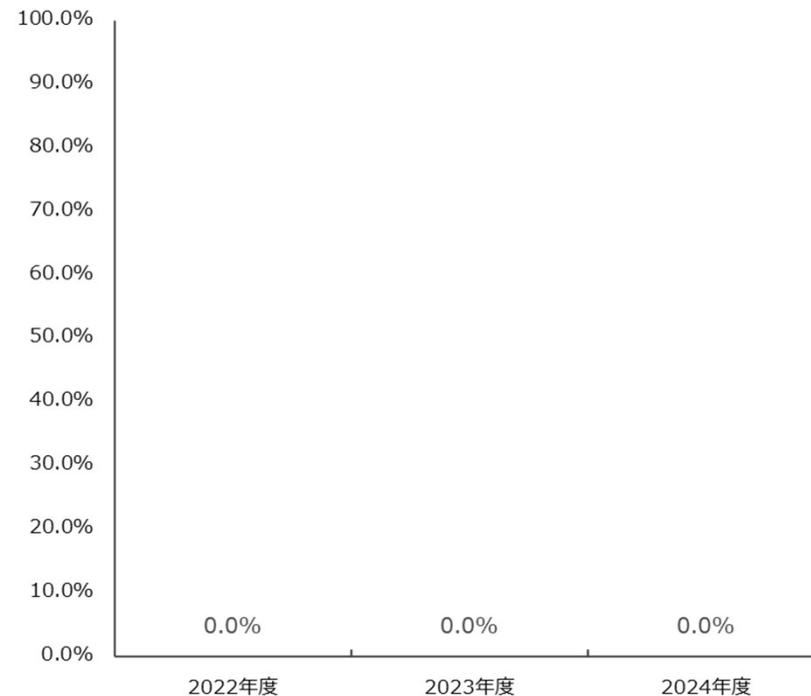
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。なお当組合は「毎月分配型ファンド」の取り扱いを行っていない。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・ 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、各種公的保険制度等の情報提供を行いながら、一人ひとりのライフプラン・加入目的に応じた最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。

② 契約締結時の対応

- ・ 保障の加入にあたっては、組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、保障内容をご理解・ご納得いただけるよう分かり易い重要事項説明（契約概要・注意喚起情報）を実施しております。

③ 高齢者対応

- ・ ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かり易く説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席を徹底するなど、きめ細やかな対応を行っております。
- ・ 令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」を交付し、ご契約者さま、被共済者さまだけでなく、ご親族の皆さまにもご安心いただけるよう努めております。

I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

④ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かり易いご説明を心がけるとともに、ご契約後も安心いただけるよう、3Q活動を通じて保障内容や共済金の請求漏れの確認などアフターフォローを実施しております。
- ・ 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)】

- 商品提供や情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 当組合は、営業部門から独立した利益相反管理統括部署（リスク管理室）を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ① お客様と当組合の間の利益が相反する類型
 - ② 当組合の「お客さまと他のお客さま」との間の利益が相反する類型
- 取引を行う際に、当該取引が利益相反のおそれがある取引として類型化された取引に該当するか確認し、該当と判断した場合は、利益相反管理統括部署に報告しています。
- なお、令和6年度は利益相反のおそれのある取引は発生しておりません。

I.取組状況

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの多様な資産運用や保障ニーズにお応えし、金融商品・共済仕組み・サービスの提供を通して信頼していただき、皆さまから第一に選ばれる「地域密着型サービス事業体」となれるよう、各種研修の受講や勉強会の実施、FP資格等の外部資格取得を奨励し、職員の知識向上を図り、お客様本位の提案を実践できる人材育成に取り組んでおります。

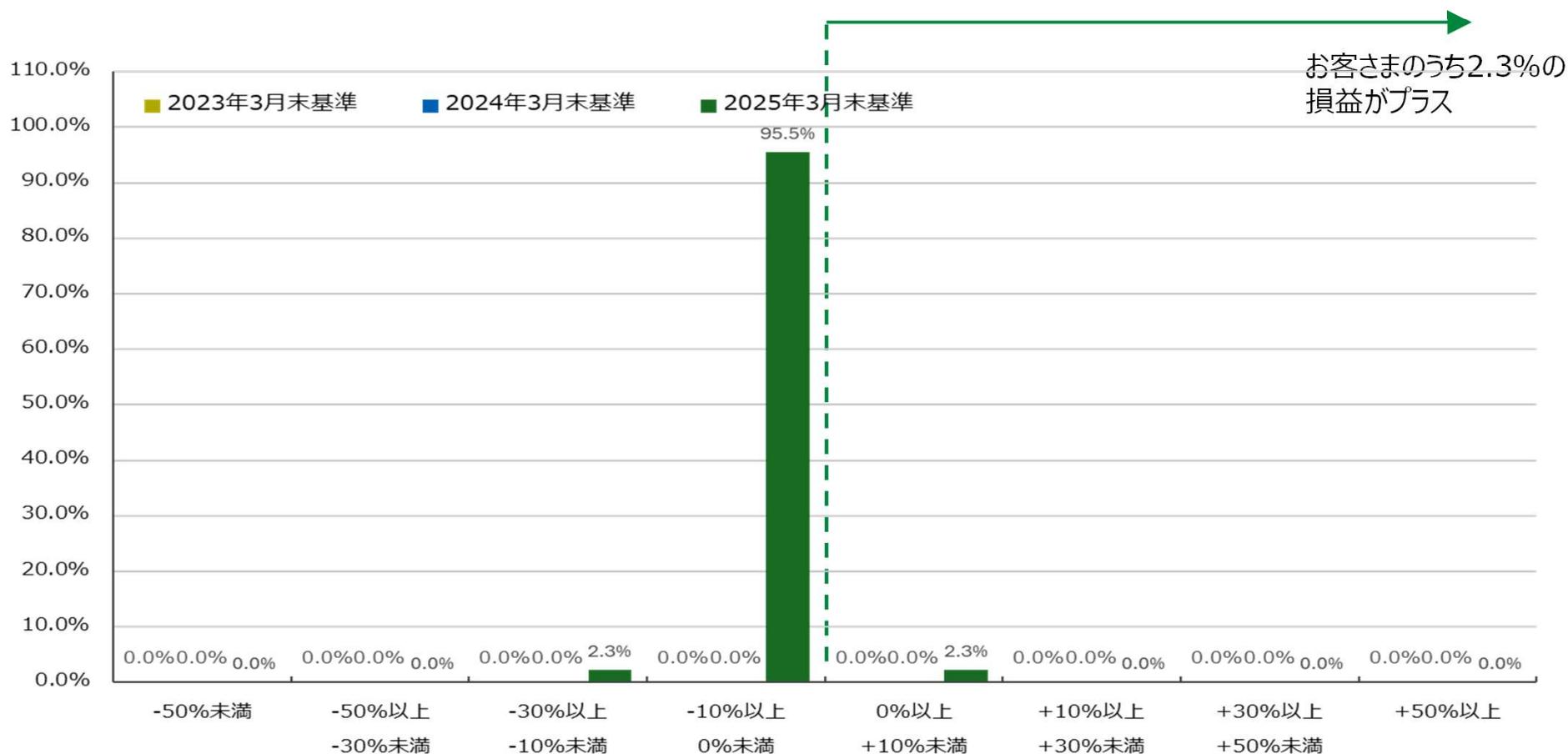
② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの「声」（お問合せ、ご相談、ご要望、苦情など）を誠実に受け止め、支所店に共有を図り業務改善に取り組んでおります。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、相場の悪化を受け基準価格が全般的に下落し、2025年3月末時点の運用損益がプラスの口座割合は、全体の2.3%となりました。アフターフォロー等で相場環境について丁寧な説明を行うとともに組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資を継続してご提案しております。

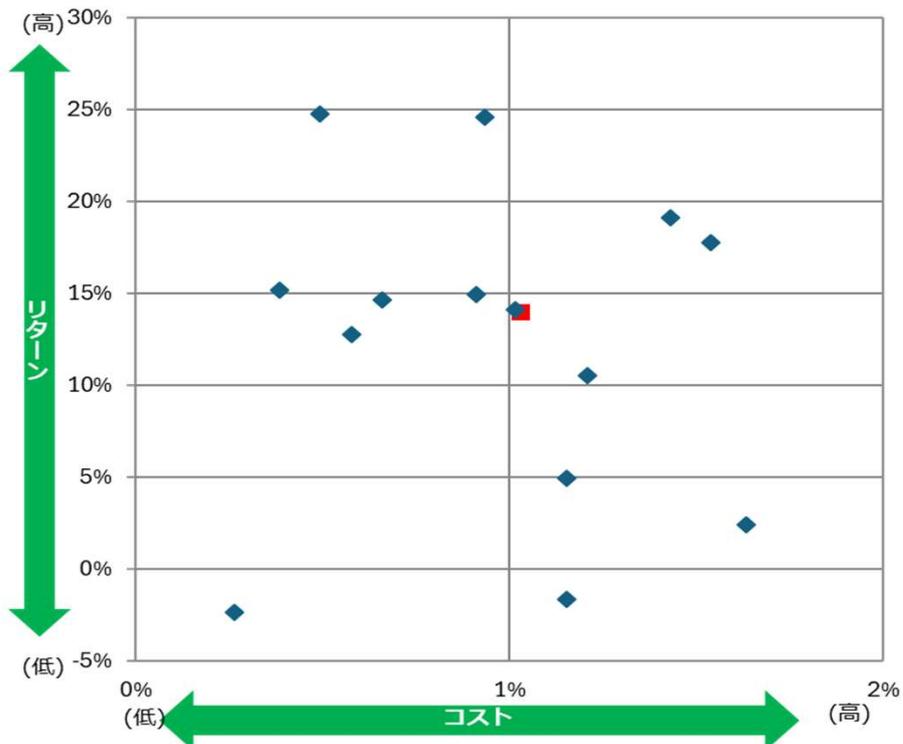


Ⅱ.比較可能な共通K P I

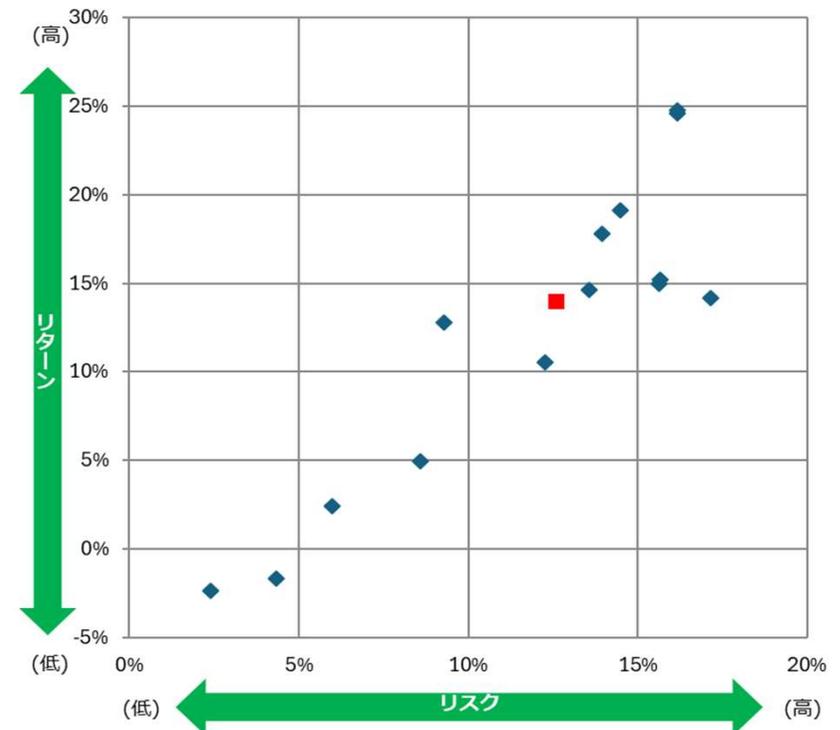
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2025年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.03%、平均リスク12.59%に対して、平均リターンは13.95%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	19.14%	14.48%	1.43%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.96%	15.62%	0.91%
3	日米6資産分散ファンド*(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.66%	4.34%	1.16%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.62%	16.15%	0.94%
5	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.77%	16.16%	0.50%
6	日米6資産分散ファンド*(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.93%	8.59%	1.16%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	12.76%	9.29%	0.58%
8	おおぶねグローバル (長期厳選)	農林中金バリューインベストメント (株)	14.63%	13.58%	0.66%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.19%	15.67%	0.39%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	17.77%	13.93%	1.54%
11	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-2.36%	2.41%	0.26%
12	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメント (株)	10.52%	12.27%	1.21%
13	H S B C 世界資産選抜 充実生活コース (定率払出型) 人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
14	グローバル・リート・インデックスファンド (資産形成型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント (株)	14.15%	17.14%	1.02%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.95%	12.59%	1.03%

※ 2025年3月末基準時点における共通K P I の対象となるファンド数は14本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。